

# 路上生活者に対するコロナワクチン意識調査

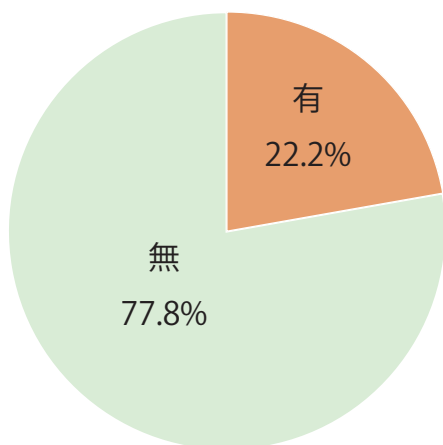
2013年より大阪市北区にて夜回り活動を行っている認定NPO法人Homedoorが路上生活を行っている人たちのコロナワクチンに関する意識調査を行いました。

調査日：2021年7月13日(火)20時30分~23時

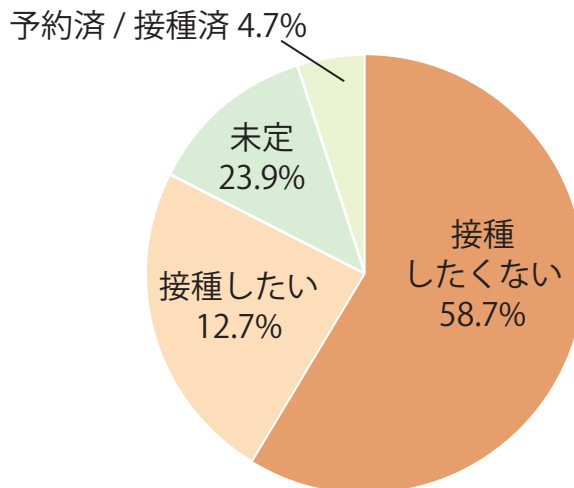
方法：面接法（お弁当を渡す際）

対象：Homedoorの夜回り4コース（天六、梅田、大川、西梅田）  
で出会った路上生活者のうち回答が得られた63名

## 接種券の有無 (N=63)



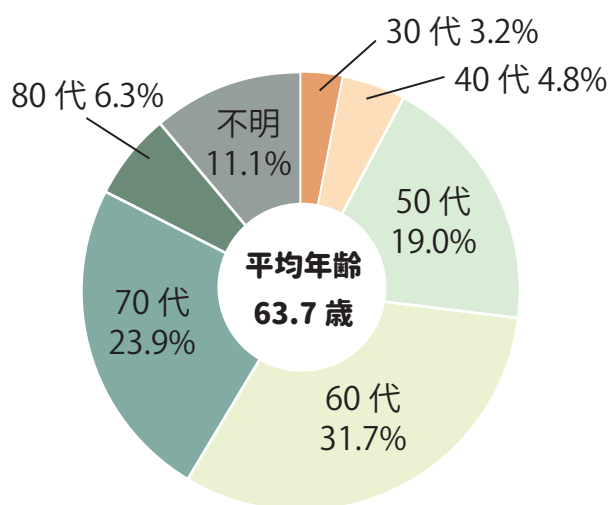
## 接種の意向 (N=63)



## 年齢別接種状況 (年齢不明を除く N=57)

		59歳以下	60歳以上	合計
接種券なし	接種したい	3	3	6
	接種したくない	8	20	28
	未定	4	7	11
接種券あり	接種したい	1	1	2
	接種したくない	0	4	4
	接種済み	0	1	1
	予約済み	1	1	2
	未定	0	2	2
接種券不明	接種したくない	1	0	1
合計		18	39	57

## 年齢 (N=63)



全体を通じて「接種したくない」が過半数を占める結果となりました。知人宅に住民票を置いているなどで、接種券をもって人は全体の2割強でした。「接種したい」と考えている人は接種券を持たない人の中でも13%いました。

接種券がなく未定の人の中には、「ワクチンがどういうものかわからないから、もう少し様子見をして考えたい」との声も聞かれました。接種を希望しない人の中には、「野宿生活中に副反応で高熱が出てしまったら、缶集めの仕事ができず、死活問題だ」と話す人もいました。

## 調査で聞かれた声

- ・副反応が怖い
- ・持病があるので受けたくない
- ・もう少し様子見したい
- ・仕事ができなくなるのは困る
- ・自分で区役所に相談に行ったが、ワクチンがないため待っている

## コース別巡回相談員との面会状況 (N=63)

	1ヶ月以内	3ヶ月以内	会ったことはある	会ったことはない	不明	合計
天六	0	0	0	13	-	13
梅田	5	1	0	16	-	22
大川	4	0	0	18	2	24
西梅田	0	1	1	2	-	4
合計	9	2	1	49	2	63

路上で生活をしている人へのワクチンについての周知は、大阪市の巡回相談員がおもに行なっています。大阪市の巡回相談員とは「相談員が大阪市内全域を巡回して、ホームレスの生活・健康・悩み等について面接相談を実施し、その相談によって個々の状況の把握に努めることにより、ホームレスと社会との関係を維持し、ホームレスに個々の事情に対応した自立に向けた支援を行うことを目的」※とし、大阪市の巡回相談員が定期的に市内を巡回しています。相談員との面会したことがある人は19%、一度も会ったことがない人は77%となりました。

※大阪市 HP「大阪市ホームレス巡回相談事業実施要綱」より抜粋

## コース別大阪市のワクチン関連チラシの受け取り状況 (N=63)

	巡回相談	他団体	シェルター	もらっていない	不明	合計
天六	0	4	0	9	-	13
梅田	4	0	2	16	-	22
大川	3	0	0	18	3	24
西梅田	0	0	0	4	-	4
合計	7	4	2	47	3	63

大阪市の巡回相談員よりチラシを受け取った人は全体の11%でした。他団体および西成区のシェルターで受け取った人は9%、「もらっていない」と回答した人は74%となりワクチンに関する周知が不足していることが明らかとなりました。

本調査のお問い合わせ 担当：谷野 / 松本

メール：info@homedoor.org 電話：06-6147-7018